

石神の丘で愛を誓う

—恋人の聖地石神の丘 プロポーズの言葉コンテスト— 審査結果

【「これで決めました部門」受賞作品一覧】			
賞	内 容	氏名	地 域
最優秀賞	<p>あんな人がお嫁さんに来てくれればいいんだけど なあ…とおふくろが言ってたけど…。</p>	<p><small>ヨシダ</small> <small>フオ</small> 吉田信夫</p>	盛岡市
	<p>エピソード</p> <p>なんとなく、一人言でいったようなことが、彼女に聞こえて、それがプロポーズになっていました。そんな自然体が今の夫婦仲でもあるようです。</p>		
優秀賞	<p>「もう何言いでがわかるべ？」照れながらそう言う彼 に私はニッコリと「じゃあ私も何て答えるかわかるで しょ？」</p>	<p><small>マツモト</small> <small>キヌコ</small> 松本絹子</p>	奥州市
	<p>エピソード</p> <p>私はドキドキしながらも余裕の笑顔で待ちました。彼はいささか緊張の面持ちで記念(本格的に付き合い始めて1ヶ月目)のケーキにローソクを立て火をつけました。心なしか手が震えているように思いました。たぶん色々考えてきたんだと思うんです。決めゼリフはこれだ!!っというのがあったかも知れませんが、でもやっと口にしたのがこれだけだったんです。本人は覚えていないとムキになるのです。私には当時4年越しの彼がいたのですが、東京はその頃あまりに遠く、淋しい日々を過ごしていたところに現れたこの彼とは、出会って間もなく付き合い始め、あっという間のプロポーズ。数ヶ月の同棲を経て翌年の1月31日に入籍、3月15日に挙式、10月27日に長男出産とトントン拍子でした。今でも初デートの6月29日は忘れられない日です。私の友達の誕生日でもあり、その日は3人で遊びに行く予定だったのですが、その友達が急に来られなくなり友達の友達だった彼と2人で出掛けてしまったのでした。普通は止めますよね。私には別に彼が…でも…今年で結婚28年目ですが、本…っ当に色んな事がありました。でもその度に「この子たちだけは泣かせたくない」と乗り越えてきました。今じゃムサツ苦しい息子3人ですが、あの頃は可愛かったなあ～。孫も男2人です。</p>		
優秀賞	<p>神様から戴いた赤い糸 スミさんに結んでいいです か「はい、ほどけないよう固くお願いします」</p>	<p><small>オオシタ</small> <small>マツゾウ</small> 大下松三</p>	岩手町
	<p>エピソード</p> <p>2人とも文無し結婚、都会に出て共働き、子供3人、今は孫5人。48年間ついてきてくれてありがとうと「しわ、ほうにチューをした」妻は恥ずかしそうに下向いて、どういたしましてと言う。これからも楽しく岩手町の地に成るまで頑張ろうと大声で笑った。</p>		

優秀賞	「俺だちの子供は、 瞳え大きくて可愛いべなあ…」	タケハナ ミナ 立花真奈	盛岡市
	エピソード 「今思うと、あの言葉がプロポーズだったのがなあ。」母が言った。「なんて、なんて?!」私は身を乗り出して目を輝かせた。「きゃああああ!!!!」思わず耳に手をあてた。「で?お母さん、なんて?」「ははっ、忘れだはあ」と笑いながら台所へ行ってしまった母。ふう〜ん、やるじゃん!父!! 結婚したいと思う男性が現れたら、私から企もう決めているプロポーズ。なんて言ったって、この父のDNAを受け継いでいるのだ、大丈夫、いける!(笑) そして、父の予想通り1年後に生まれた瞳の大きい可愛い、私。今現在も可愛いかどうかは、また別のお話。		
優秀賞	貴方の心とおサイフは私が守ってみせる。	マツザキ ミツコ 松崎光子	川井村
	エピソード 昭和57年11月14日に結婚した2人です。いまだ、おサイフがっちり握っている私(妻)。夫は小遣いずっと同じだとぼやいていますが、本当に心の通った幸せ夫婦です。		
優秀賞	「死んでも護るから、 俺の奥さんになってけんねが?」	ナガノ キクヨ子 永野紀久子	大船渡市
	エピソード 昔、付き合っていた彼がバイクの事故で他界。以来、彼と一緒にいられた「1年」がくると、たとえどんなに親しい友人であっても自然に別れるような気がしてしまう、20代前半でした。そんな時に出逢ったのが、今の主人。7歳上で、当時彼は31歳。私は24歳。シャイな彼の精一杯の言葉と知りながら、私は「やんだ!」と思わず言ってしまいました。「なにしてダメなのや?」彼が泣きそうな顔をして言ったので、こう答えたんです。「死んでからなんて遅すぎる!どうせなら生きてオウを護りなさいよ!」今でも、私が主導権を握っています。(笑)		

【「これからプロポーズ部門」受賞作品一覧】

賞	内 容	氏名	地 域
最優秀賞	恋人の聖地で巡り会った2人は、結ばれる運命なんだよだから結婚しよう!なっ!	アベ ツネキ 阿部常之	紫波町
	エピソード 恋人の聖地「石神の丘」で出会い、交際を始めたばかりの2人です。いつか♥その時♥が来たら聖地の力を借りて、少しこっぴどかしいプロポーズが出来たらいいなあと思っています。たぶん…むりかなあ(汗)		

優秀賞	「あなたは背の高いコスモス そして私は、そのコスモスを揺らすやさしい風でありたい」	アサマ アキ 浅沼亜季	盛岡市
	エピソード 祖母宅の庭いっぱい咲くコスモスの花がそよ風になびいている様子を見ているうちに、ひょろっと背の高い彼の姿とたぶり、思いついた言葉です。引っ込み思案な私ですが、この思いを彼に伝える時がもうすぐであることを願って…♥		
優秀賞	沼宮内の嫁になってください!	ヤマガタ ショウタ 山形翔太	花巻市
	エピソード 今は故郷を離れて暮らしていますが、結婚して新しい家族ができれば、故郷に戻り、地元と一緒に愛していこうという気持ちを伝えたいと思っています。もちろん、僕のお嫁さんなんですが(笑)		
優秀賞	死ぬまで私の炊いたごはんを食べてください!	フジワラ ミチ子 藤原美智子	花巻市
	エピソード 体重三桁にいきそうなメタボな彼。ご飯大好きでごはんの話で2時間も話せるほど。料理下手な私ですが、家が米農家ということもあり、なんとかご飯だけは炊けます。付き合ってから、私がお飯が炊けることが分かりすぎくまとしてました。でもそんな彼なので、ご飯をおいしそうに食べる姿はすごくいとおしく感じます。私は3姉妹の長女のため、結婚となると婿入りとなりますが、そんな環境の中で、ご飯だけはいつもおいしく食べられるように用意したいなという思いから、8歳年上の彼だけど、あえて私からこんなプロポーズできたらなとひそかに胸中に思っています。		
優秀賞	「えっ??? もう帰るの? マジ帰るの? どうしても帰っちゃうの?…。ずっと一緒に居ようよ!!」	クドウ シンタロウ 工藤義久	盛岡市
	エピソード お互いの仕事の関係もあり、彼女とあまり逢うことができず、ある日デートの帰り道でのこと。時間は午後8時30分、運転する私の傍らで「明日も仕事だから、そろそろ帰る?」と言った彼女の顔が、何故かいつもより眩しく見えた瞬間「また逢えない日が続くのか…。もしかしたら一生逢えないかもしれない。まだ帰したくない!一緒に居たい!」という思いから、思わず急停車し彼女に向けて発した言葉でした。今、ずっと一緒に居るための準備を彼女と一緒にしています。		